

# ICTを活用した言語活動の指導と評価の工夫改善

～映像を媒体とした言語活動の充実で「ことばの力」を育成する～

亀岡市立南つつじヶ丘小学校

〒621-0846  
京都府亀岡市南つつじヶ丘大葉台2-28-1

<http://www.el.city.kameoka.kyoto.jp/minamitsutsujigaoka/>

## 1 これまでの経過

本校は、平成20～22年度までの3年間、京都府小学校教育研究会情報教育部の研究協力校として情報教育の研究を進め、国語科を軸として、情報活用能力を育成するために、全クラス配置された電子黒板や様々なICTを活用し学力向上を図ってきた。ICTを効果的に使うことによって、多様な言語活動に意欲的に取り組む児童の姿が見られ、コミュニケーション能力の高まりが感じられた。一方、「文章全体をとらえる力」「構成を考え根拠を明らかにして書く力」、「考えたことを自分の言葉で表現する力」に課題があることも明らかになった。

平成23～24年度は「京の未来創造校」研究指定校として、これまでの成果と課題を踏まえ、全ての学びを支える「ことばの力」をはぐくむことが、大切だと考えた。そして、「1 読む力や書く力など基本となることばの力 2 伝え合う力」を重点にすべての学びを支える「ことばの力」の育成に取り組むこととし、そのために、京都府教育委員会の「ことばの力」育成プロジェクトを基本に、「南っ子ことばの力育成プログラム」の開発と実践を進めた。

## 2 研究のねらい

京都府教育委員会の「ことばの力」育成プロジェクトを基本に、「南っ子 ことばの力 育成プログラム」の開発を目指した。プログラムの開発にあたっては、次の3点を重視した。

- ①教科国語で基本となる「ことばの力」を育成し、その基本となる「ことばの力」を各教科・領域で活用することにより、伝え合う力を育成する。
- ②ICTを効果的に活用し、言語活動を充実する。
- ③幼児期の教育及び中学校教育との接続を図る校種間連携を推進する。

### 3 研究実践

#### (1) 南っ子 ことばの力 育成プログラムの開発

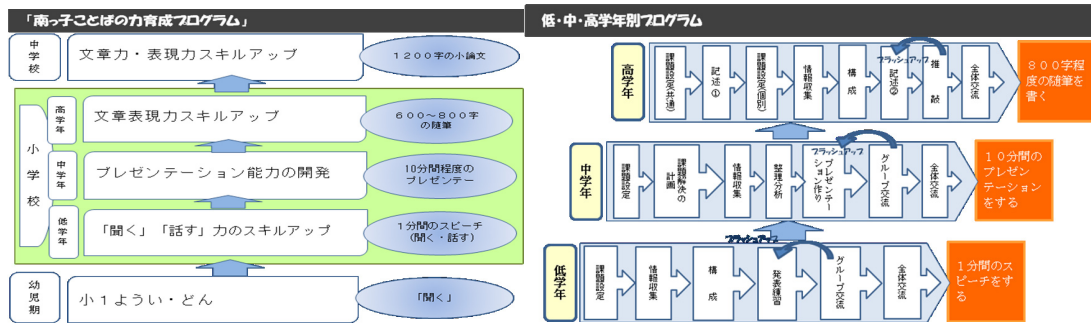


図1 南っ子ことばの力育成プログラム

#### (2) 授業実践を通じた仮説の検証

- ・言語活動を単元全体に適切に位置付ける授業改善が進んだ。
- ・国語科で学んだ力を生かして、各教科や領域で考えたり表現したりする力が付いた。

(写真1)

#### (3) ICTの活用による言語活動の充実

- ・情報の取捨選択の力や表現手段・方法を工夫する力が付き、伝え合う力（コミュニケーション能力）が伸びた。(写真2)

#### (4) 校種間連携による「ことばの力」の育成

- ・幼児期の教育を踏まえ、中学校の段階を見通して「ことばの力」をとらえ、指導に生かすことができた。

#### (5) 言語環境の整備

- ・プログラムの実践を支える多様な言語環境の整備を進めた。

#### (6) 事例集の作成や電子黒板の活用に係る出版協力



写真1 ペアトークで考えを交流している児童

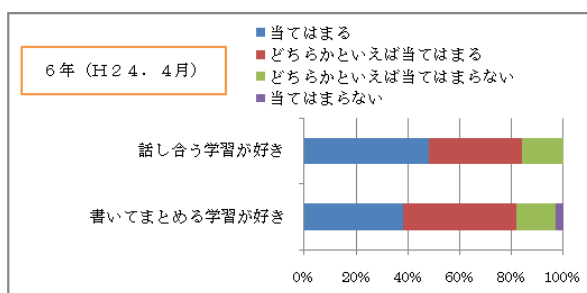


写真2 映像をもとに、話し合っている児童

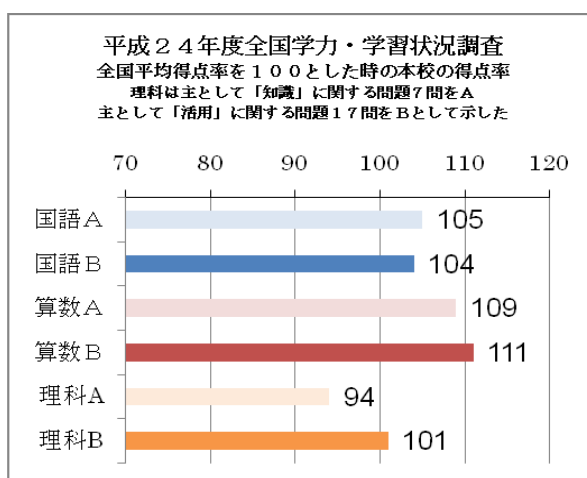
#### 4 研究の成果

##### 【児童のことばの力】

- ・表現活動への意欲が向上した。（グラフ1）
- ・活用する力（思考力・判断力・表現力等）に伸びが見られた。（グラフ2）
- ・各学年に付けたい「ことばの力」を明確にすることで、「聞く・話す」「プレゼンテーションの力」「書く力」が付いた。
- ・児童自らが ICT を活用する力が伸び、思考力や表現力の向上につながった。（写真3）



グラフ1 児童アンケート



グラフ2 平成24年度全国学力・学習状況調査

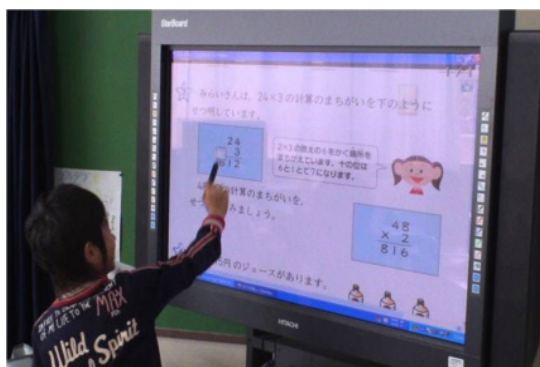


写真3 書き込みながら考えを伝える児童

### 【教職員の教師力向上】

- ・課題を明らかにし、短期目標を掲げ、実践を行うことで、教員の共通理解が図られ、全校が一致して研究を進めることができた。全員が授業を行い、検証を進める中で、授業改善が進んだ。
- ・ワークショップ型事後研究会を行うことで全員が発言し、若手教員が進行・グループ協議の報告を行い、教師力向上につながった。

### 【言語環境の整備】

- ・聞き方・話し方、言語事項の表などを掲示し日常的に活用した。
- ・毎月、各学年の研究の足跡を掲示し全校で共有した。

(写真4)

- ・朝学習で基礎的な学力を身に付けた。
- ・「ことばの力」を意識したなかよし班活動で、コミュニケーション能力が高まった。

(写真5)

- ・昼読書や読書ボランティアによる月2回の読み聞かせで 読書に対する意欲を伸ばし習慣を付けた。



写真4 言語環境の整備 (掲示物)



写真5

なかよし班活動 (スタート集会で自己紹介)

### 5 今後の課題

- ①「南っ子ことばの力育成プログラム」検証・改善
- ②思考・判断・表現に視点を置いた言語活動の充実
- ③目標を達成するための単元構成や授業展開の工夫
- ④ICTの効果的な活用の推進

- ⑤言語環境の整備
- ⑥校種間連携の推進
- ⑦家庭・地域連携の推進

6 研究成果を生かした今後の取組

- ①「南っ子ことばの力育成プログラム」の実践と検証・改善
- ②ICT活用による言語活動の充実と思考力・判断力・表現力の育成
- ③幼小連携、小中連携の一層の推進

7 研究成果の他校への普及

- ①研究発表会の開催（平成24年11月20日）  
（写真6）
- ②研究紀要リーフレットの作成
- ③実践事例集の発行
- ④電子黒板まるごと活用術（小学館）出版協力  
（写真7）



写真6 研究発表会の様子（パネルディスカッション）



写真7 成果物として作成した事例集・書籍